

登録コード	E2702900	開講年度	2026				
授業科目	木材加工学					担当教員	村松 浩幸
英文授業名	Woodworking					副担当	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時間	集中・不定期	対象学生	3-4 年生
講義室	教育W 1 1 2			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					木材におけるデジタル加工技術の理論と実習を具体的に学び、情報技術を活用した木材加工の技術について指導できるようにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	木材加工技術の応用として、木材加工技術と情報技術との関連に焦点を当て、木材におけるデジタル加工技術の理論と実習を具体的に学び、情報技術を活用した木材加工の技術について指導できるようにする。						
(5)授業計画	第 1回 : 木材加工と林業および関連産業関連（オンデマンド） 情報機器の活用を含む 第 2回 : 合板の特徴と活用（オンデマンド） 情報機器の活用を含む 第 3回 : 木材加工技術と情報技術の関連（オンデマンド） 情報機器の活用を含む 第 4回 : パラメトリックデザインで箱の設計（オンデマンド） 情報機器の活用を含む 第 5回 : パラメトリックデザインによるレーザー加工 情報機器の活用を含む 第 6回 : パラメトリックデザインによるレーザー加工 情報機器の活用を含む 第 7回 : 伝統的な木組みの木材加工技術（オンデマンド） 情報機器の活用を含む 第 8回 : 木組を用いた3本組み木作品の製作 第 9回 : 木組を用いた3本組み木作品 第10回 : CNCによる木工作品の製作実習 情報機器の活用を含む 第11回 : CNCによる木工作品の製作実習 情報機器の活用を含む 第12回 : CNCによる木工作品の製作実習 情報機器の活用を含む 第13回 : 木材加工技術と情報技術の指導 第14回 : これからの木材加工技術（含む授業アンケート） 定期試験						
(6)成績評価の方法	試験（実技も含む）（40%・木材加工，製図の理論や知識，技能），課題の成果（40%・加工技能），実習（身支度も含む）の取り組み（20%・製作指導力）で総合して評価。 ・課題およびレポートについては，課題毎に書式，内容等の評価項目5段階でポイント化し，総得点を演習課題評価とする。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	課題およびレポートに対して， 概要が適切に説明されている。 基礎的事項が科学的理論に基づいて説明されている。 理論と実際とが比較検討されている。 理論と実際との比較から問題点と課題が把握できている。 自分の見解を科学的理論に基づいて考察されている。 ・ ~ 項目までができていれば「水準にある」 ・ ~ 項目までができていれば「やや上にある」 ・ ~ 項目までができていれば「かなり上にある」 ・ ~ 項目までができていれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	・演習により時間を割けるように，eAles上に事前学習課題（小テスト）や参考資料を提示しておく。なお，60分以上の事前学習が必要である。また，授業後は復習の課題や演習課題を共有し，学習内容の定着をはかる。						
(9)履修上の注意	(1)製作実習時は，作業服またはつなぎと帽子を必ず着用のこと 身支度ができていない場合は，実習ができない。 (2)木材加工基礎および木工実習が履修済みであること。 (3)実習課題が間に合わない場合は，適宜授業外にも取り組むこと。 (4)オンデマンドで学習する回もあるので，通信環境を整えておくこと。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	研究室 水曜日 13:00～14:00 238-4175，muramatu@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	技術・家庭科技術分野教科書（検定済み教科書）東京書籍						
【参考文献】							